

2015年度 平和教育登戸研究所 自己点検・評価報告書

基準 1 理念・目的

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。		現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画	
			効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述
(1) 付属機関等の理念・目的は適切に設定されているか						
a	◎高等教育機関として大学が追及すべき目的（建学の精神、教育理念、使命）を踏まえて、当該付属機関・委員会の理念・目的を設定していること。 【約500字】	平和教育登戸研究所資料館は、「明治大学平和教育登戸研究所資料館規程」に基づき、旧陸軍登戸研究所が使用した施設を保存・活用し、戦争のあらゆる側面を見つめ、後世に語り継ぐことを通じて、本学の『権利自由』『独立自治』の基本理念のもとに歴史教育・平和教育・科学教育を展開する。あわせて市民との連携の場として活用する。 登戸研究所にまつわる関係者の証言、資料等を調査し、記録を後世に伝えると共に、結果を広く公開し、歴史教育・平和教育・科学教育の発信地とすることを目的とする。 大学キャンパス内にある戦争遺跡そのものを保存し、資料館として活用する事例は、国内初であり、また登戸研究所という秘密戦を担っていた研究機関の性格上、他に類をみない特色的な展示を行なっている。				
(3) 付属機関等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか						
a	●理念・目的の適切性を検証するに当たり、責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。 【約300字】	教育・研究に関する年度計画書や活動報告書を作成し、理念・目的に添って活動しているかを平和教育登戸研究所資料館運営委員会に於いて点検を行なっている。				

2015年度 平和教育登戸研究所 自己点検・評価報告書

基準 2 教育研究組織

点検・評価項目 <small>◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。</small>	現状の説明 <small style="color: red;">C列の点検・評価項目について、必ず記述してください</small>	評価		発展計画		
		<small>効果が上がっている点 F列の現状から記述</small>	<small>改善を要する点 F列の現状から記述</small>	<small>「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目</small>	<small>「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述</small>	<small>(中長期的対応) H列にあれば記述</small>
(1) 付属機関等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか						
a ①教育研究組織の設置状況は理念・目的に照らし、適切であるか。学術の進展や社会の要請と教育との適合性について配慮したものであるか。 ●教育研究組織は、当該大学の理念・目的を実現するためにふさわしいものであるか。 【約300字】	教育研究組織の編成は、館長の下、教務事務室担当者2名が資料館事務を兼務し、必要に応じて生田キャンパスに出張し、運営にあたっている。総務部生田キャンパス課が運営にあたり協力をしている。 学芸員資格を持つ嘱託職員3名で、来館者案内、資料収集、調査、保存、保守にかかる業務を行っている。3名の内2名は特別嘱託職員、1名は短期嘱託職員。他に派遣職員1名が、来館者案内、資料整理業務を行っている。 「明治大学平和教育登戸研究所資料館規程」第5条で定める平和教育登戸研究所資料館運営委員会は、学部所属の教員と事務管理職計8名によって構成。年1～2回の定例会を開催し、活動計画と自己点検・評価を実施している。同規程の第8条に定める専門部会として、企画展示専門部会を設置している。					
(2) 付属機関等の教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか						
a ●教育研究組織の適切性を検証するにあたり、責任主体、組織、権限、手続きを明確にしているか。 ●その検証プロセスを適切に機能させて、改善に結びつけているか。 【約500字】	教育研究組織の適切性については、運営委員会の自己点検・評価にて検証している（2015年6月8日開催、審議事項2）。					

2015年度 平和教育登戸研究所 自己点検・評価報告書

基準 7 教育研究等環境

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画	
		効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述
(1) 資料館の整備に関する方針を明確に定めているか					
a ●学生の学修、教員の教育研究の環境整備に関わる方針を、当該大学の理念、目的を踏まえて、定めているか。	資料館自体が戦争遺跡という特色から、収蔵資料を含め恒久的に保存と管理に努めていく。そのための適切な温湿度、害虫駆除等環境衛生面での管理を徹底していくことを方針としている。このことを教育・研究計画書に明文化している。				
(2) 十分な施設・設備を整備しているか					
a ●方針に沿って、施設・設備、機器・備品を整備し、管理体制や衛生・安全を確保する体制を備えているか。	<p>ア 収蔵室 収蔵資料の特質に応じて最適な条件を設定し、望ましい保存環境の維持に努めている。</p> <p>イ 展示室 資料館として適切な室内環境を維持している。また、随時サイン表示類を更新し、整備している。</p> <p>ウ バリアフリー化の推進 エントランスから館内へのスロープを設置し、館内に段差はない。</p> <p>エ 保守・管理 温湿度管理および害虫駆除等については、資料館特別嘱託職員、短期嘱託職員を中心に日常的に管理に努めている。資料館外周の雑草刈払い等は生田キャンパス課が協力している。</p> <p>オ 防災・安全確保 通常は守衛所と連携して防災、安全確保に努め、閉館後、外部業者による遠隔監視を行っている。</p>				

2015年度 平和教育登戸研究所 自己点検・評価報告書

基準 8 社会連携・社会貢献

点検・評価項目 <small>◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。</small>	現状の説明	評価		発展計画		
	C列の点検・評価項目について、 必ず記述してください	効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」 に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画	
		(当年度・次年度対応) H列にあれば記述	(中長期的対応) H列にあれば記述			
(2) 教育研究の成果を適切に社会に還元しているか						
○平和教育登戸研究所資料館を通じた社会貢献活動	通常展示のほか、企画展の開催（記念講演会、証言会含む）、月2回の学内見学ツアーの実施した。なお、生田キャンパスで開催した企画展のほか、陸軍中野学校の跡地に新設された中野キャンパスにおいて、企画展の一部をパネル展示し、サテライト展示を行った。また、キャリア教育の一環として、市内在住の中学生を対象に「仕事」について学習する機会を提供し、職場体験を受け入れるなど、社会貢献を行った。教育・研究活動としては、学部間共通総合講座のほか、リバティアカデミーの講座を生田キャンパスにて開講した。 企画展他イベントについては、大学ホームページに随時公開している。資料館の活動等については、年2回発行する資料館だよりで公開している。	大学ホームページの効果により、近隣だけでなく遠方からの来館者も増えている。また、団体での来館者も増えている。企画展で開催する、講演会や館長による展示説明会なども好評である。		今後も引き続き、ホームページ等で、登戸研究所資料館の情報を更新し広めていく。		
(検証システムと改善実績)	検証システムとして、自己点検・評価報告書を作成し、予算計画と連動して年度計画を立案している。企画展他イベントについては、大学ホームページに随時公開している。資料館の活動等は、年2回発行する資料館だよりで公開している。					

2015年度 平和教育登戸研究所 自己点検・評価報告書

基準 10 内部質保証

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。		現状の説明	評価		発展計画	
			効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述 (中長期的対応) H列にあれば記述
(1) 点検・評価を行い、結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか						
a	◎自己点検・評価を定期的実施し、公表していること 【約400字】	来館者等のアンケートによる評価および、2015年度からは、従来の年次報告書に代わり、「明治大学平和教育登戸研究所資料館館報」を発行し、学内外関係機関へ配付した。これは、資料館の充実と戦争遺跡の保存、継承を行うことで、資料館の質の向上を目指すことを方針としている。				
(3) 内部質保証システムを適切に機能させているか						
a	●自己点検・評価の結果が改革・改善につながっていること ●学外者の意見を取り入れていること ●PDC Aサイクルを回すための、C h e c k (点検・評価)およびA c t i o n (改善)の具体的内容・工夫	平和教育登戸研究所資料館運営委員会(館長=委員長,副委員長,学長指名選出委員,学部からの選出委員)を2015年6月8日に開催し、「2014年度明治大学平和教育登戸研究所資料館活動報告」を作成し、委員会で報告した。なお、2015年度からは「明治大学平和教育登戸研究所資料館館報」を発行することについて承認されている。資料館だよりに資料館の活動及び来館者の声等を紹介し、配付及びホームページ上で公開している来館者アンケートや企画展等の行事毎にアンケートを行い、問題点を検証し、迅速に反映している。また、運営委員会において、自己点検・評価する機会を設けている。運営委員会において自己点検・評価を行い、2015年度は企画展の実施や証言者の聞き取り等について、教育研究年度計画書に反映させ、PDC Aサイクルを実施している(6月8日開催)。財務については、大学が実施する法定監査を受け、適切に処理されている。				